

2023年5月29日

高度急性期病院3機関が診療材料の調達・物流等に関する連携協定を締結しました。

国立研究開発法人国立循環器病研究センター（理事長：大津欣也、以下「国循」）、独立行政法人国立病院機構大阪医療センター（院長：松村泰志、以下「大阪医療センター」）、及び国立大学法人大阪大学医学部附属病院（病院長：竹原徹郎、以下「阪大病院」）の設置主体が異なる三つの高度急性期病院が、持続可能で良質な医療の提供というそれぞれの使命を果たすための経営基盤構築の一環として、診療材料の調達・物流等に係る取組の連携に関して、病院経営の改善に寄与する連携した共同での取組を推進するための協定を締結しました。

（連携事項）

- （1）診療材料の購入実績や購入価格等のマスターの共有、分析に関すること
- （2）SPD委託業務の共同調達に関すること
- （3）共同で行う診療材料の調達に関すること
- （4）統一品目の推進に関すること
- （5）診療材料の仕入れや在庫管理など物流の効率化に関すること
- （6）その他

国循と大阪医療センターとは、2022年10月に診療材料の調達・物流等に関する連携協定を締結し、具体策の検討や試行を行ってきましたが、今回、その検討結果に加え、阪大病院の参加により更なるスケールメリットも活かし、**3機関の共同・連携した診療材料の調達・物流等に係る取組を推進することにより、病院経営の改善のみならず、メーカーやディーラーが抱える物流や在庫管理とそのコストなどの課題解決も視野に入れ、「メーカー～ディーラー～医療現場」全体の効率かつ最適化につながるような一つの地域モデルとなることを目指しています。**

※別添イメージ参照

（今後の取組み）

当面、3機関連携して統一品目を検討し診療材料費の適正化を行いつつ、2025年4月以降のSPD委託業務の3機関共同調達に向けた具体的な検討を進めるとともに、SPD院外倉庫の在庫一元管理による効率化や流通コストの削減を目指した検討を進めることとしています。

【本件に関する問合せ先】

- | | |
|---------------|--|
| ○国循(窓口) | 財務経理課(渡部)、企画経営課(寺本) 06-6170-1069(内線 40050、40033) |
| ○大阪医療センター(窓口) | 事務部 企画課 (西田) 06-6942-1331 (代) |
| ○阪大病院(窓口) | 事務部管理課 (松尾) 06-6879-5116 (内線 5120) |

複数病院による診療材料の調達・物流等に関する取組

- 専門業者（SPD業者）を活用した複数病院の診療材料の標準化の推進
- 一括購買委託により事務負担の軽減及び柔軟かつ弾力的な対応
- 病院数によるボリュームディスカウントで価格交渉力の強化
- 複数病院の診療材料の標準化・在庫一元管理による供給不安定問題への対応力強化及び物流の効率化による流通コスト削減

(イメージ)

